

直播管理情報（乾田直播）

令和5年5月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

管内の乾田直播は、4月20日前後から播種が始まりました。播種の早いほ場では、5月10日頃から出芽が確認され始めており、5月上旬に播種されたほ場でも順調に出芽が確認されています。

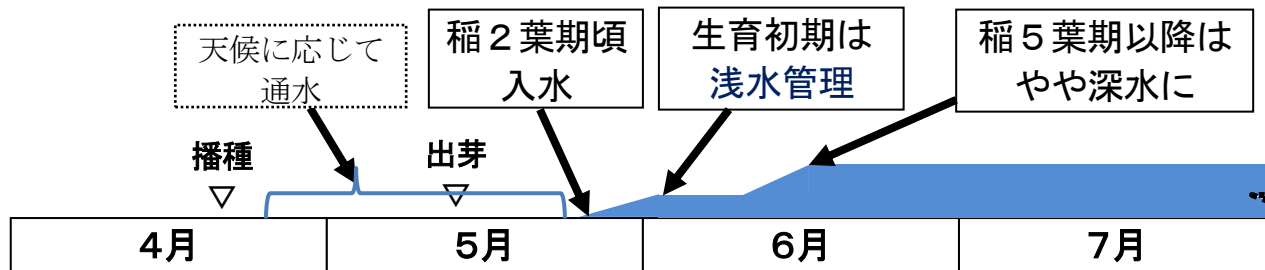
今後は、的確な水管理や雑草防除に努め、苗立ちを確保しましょう。

1 播種後の水管理

- 排水不良条件では苗立率が低下するため、本葉が2枚出るまでは、ほ場内に水たまりができないよう排水対策を徹底しましょう。
- 播種後、長期間無降雨日が続いた場合は、播種後1週間目と2週間目に通水処理（1～2日程度の浅水管理後に強制落水）を行って、出芽を促進しましょう。
- 本葉2葉期になったら、遅れないように入水し湛水しましょう。
 - ・出芽している個体のうち2枚目の葉が展開しているものが半数を超えたら入水します。
 - ・必ずほ場全体の出芽状況を確認してから入水しましょう。
 - ・入水が遅れると、稲の生育が遅れるとともに雑草の繁茂につながります。
- 入水後は、抑草効果と肥効を持続させるため、収穫間際まで湛水管理を行いましょ。
 - ・生育初期は浅水管理とし、草丈の徒長に注意してください。
 - ・乾田直播の場合は、田面が固くなっているため、中干しを行う必要はありません。



【播種後の水管理のイメージ】 ※4月下旬播種の場合

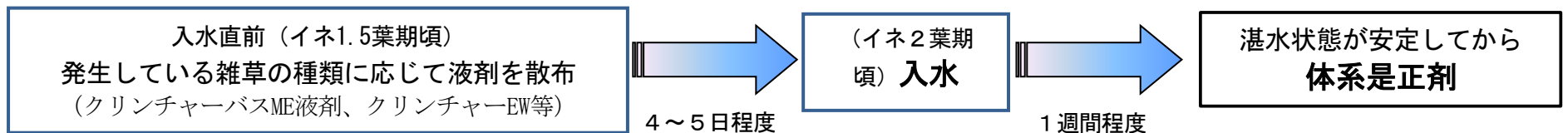


※田干しは、田が湧いたり、藻が多発した場合等によりのみ実施する。

2 入水前後の雑草防除

～雑草の発生状況を確認し、除草剤を適期に散布！～

【入水前後の雑草防除】



【除草剤の使用例】

| 散布時期 | | 除草剤名 | 散布量（10a 当たり） | 備考 |
|-------------------------------|-------|---------------|--------------------------|-------------------------------|
| 入水直前 | ヒエ・広葉 | クリンチャーバスME液剤 | 薬剤1000 ml 希釈水量70～100ℓ | 播種後10日～ノビエ5葉期まで散布後3～4日間は入水しない |
| | | トドメバスMF液剤 | 薬剤1000ml 希釈水量70～100ℓ | 播種後10日～ノビエ6葉期まで散布後3～4日間は入水しない |
| | ヒエのみ | クリンチャーEW | 薬剤100 ml 希釈水量25～100 ℓ | 播種後10日～ノビエ5葉期まで展着剤を加用する |
| 入水後 1週間程度 (雑草の発生状況に応じて) | | エンペラー1キロ粒剤 | 1 kg | イネ1.5葉期～ノビエ2.5葉期 |
| | | ジャンダルムMX1キロ粒剤 | 1 kg | イネ1.5葉期～ノビエ3.0葉期 |
| | | クサウェポン1キロ粒剤 | 1 kg | イネ1.5葉期～ノビエ3.0葉期 |
| | | サンパンチ1キロ粒剤 | 1 kg | イネ3葉期～ノビエ3葉期まで |
| | | ウィードコア1キロ粒剤 | 1 kg | イネ3葉期～ノビエ4葉期まで |



○ヒエなどの雑草は稲より

生育が早いため、気が付かないうちに葉齢が進んでいます。入水前の液剤は遅れないよう、天候のよい時に丁寧に散布しましょう。特に、出芽前の非選択性除草剤が散布できなかったほ場は、雑草の発生状況を確認し、早めに液剤を散布しましょう。

○クリンチャーバス等の液剤は残効性がないため、薬剤がかかった草にしか効果がありません。入水後の除草剤は確実に散布して下さい。（入水後、減水が少なくなり湛水状態が安定してから散布しましょう。）

○入水後の除草剤は、「直播水稻」で登録のある剤を使い、決められた使用回数等、使用基準を遵守しましょう。

農作業の際は、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましよ